

人の一生を重きて負ふ如き道を急ぐが如からず。

スカンヂナビヤ  
一年間の見聞  
(七)

三浦彌五郎

▲清康高麗なる國民 其數に曰はく外人  
の一時の快樂を以て一般本國人の  
健康を害し善良の風俗を破るが如きは  
忍ぶ能はざる所なり其の代り侯爵の  
邸に至る迄賢明且正直にして室内の鍵  
を封ざると雖も爲すものな停車  
場、直車又は船中杯にて忘物を爲すも  
返り来ること難し勿盜を伺とも思ふ  
はる朝醉人に懼まざる子に取  
てその點は至大の快徳を與ふ煙草  
賭は絶無にはあらざるべきも殆んど見  
實らず乞食は公園内に轉賣鉛筆帳  
を買ひ呉れども求めたる二三の老人に  
出を施し便利を供し以て其の收入を  
方々にも何十里の長を有し之に比す  
水道釜島三浦道山浦直路の三里に比す  
れば實に三倍以上なりと史に徴するに  
右等の入江は往昔は海賊の巢窟にして  
所謂北方人の根據地なり彼等は其方  
トアフリカより出て獨逸の北邊又英國に侵  
入し殖民したるなり彼等の乘りたる當  
船二隻は現にタリヌス

内亂の發展と國際法

は、居住者に於ては、從來我國に於ても外人の旅行者を増加せしめ其財布の金を是をたかしむる爲め種々の設備を施すを要すと主張する者あり現在の我國の程度に於ては誠に理由ある議論にして外人の批評は之を他山の石とすべく特にホムラの設備の如きは最も必要なれども其の他例へば道路橋梁の修築、市街の改良、監獄、捕房、公園病院、保養所の増設、上下水の布設の如きは抑々日本人の便利、衛生、利益の爲めに當然作らざるべからざる筈のものにて旅行者の如きは自から之に均霑する

一、内亂と實例法

(六) 實例法

此承認に關しては英國は之を以て尙早且反徒に肅するものとして佛國に抗議を提出しつゝ後於英國は一千七百八十三年のウニエール條約を以て北米の獨立を承認し

一、北米合衆國の獨立を承認すべし。

此承認は佛國先づ之を行ひしものにして、英國先づ七八年二月六日の通商條約修交條約を以てしたるものなり、其條約は寧ろ反徒と同盟を結ぶにありたり。

此承認に關しては英國は之を以て尙早且反徒に肅するものとして佛國に抗議を提出しつゝ後於英國は一千七百八十三年のウニエール條約を以て北米の獨立を承認し

石炭商 三共商會

を可決す蓋首相の性質實務的なるに由る  
 ▲北部 伊太利海軍中の獨逸外相はネ  
 分羅馬に至り伊國外相を訪問すべしと  
 ▲海牙 阿比伊國の最長決議は獨逸空軍  
 ▲議員の提案を修正せしものを基礎とし  
 ▲波斯 橫濱鐵道設備調査財政的準備  
 ▲英國 昨年の商船建造高百八十三萬  
 噸に上り前年度に比し六十六萬噸を増

青年(第四卷一號) 大

「新生」の一文は、一方の本領を發揮する。『萬葉集』の思想の流通も亦それ等亦讀むべき。第三三條東京市千駄ヶ谷六丁目一番三號伊藤起信生活社。

「無我無愛」(第四十一號) 伊藤靜信氏

本縣區東川町文成社發行(冊十五錢)

ひびき記事を以て充されたり。(東京市)

「東京新聞」

「重要記事」は小林博士の「在外正貨」

保持」松尾小三郎氏の「歐洲日本港津

取増加」荏田秋村氏の「物價騰貴は

「經濟上」に及ぶ影響如何」左門

(冊十二錢東京市千城橋彌生書局)

可經濟雜誌社)

梁川庄八

第八十三回

「ウム、度程、」と云ふのは貴方のやうな身分ある御座な様や高持の百姓の御客様でござんた御方ばかりが、然るに、風俗の悪い御客は誠に迷惑なものでござんた、萬八と云ふ男は素と堅直でござんたが、今日此處の仲間に這入て今日では頼成になぞを致した大きな貸元面をしては名主様と一緒に遊ばぬでござんた、庄ウム乃金も時に聞たが毎度博奕の資金を名主の仲威かて行くのは毎度の事で、貸せな持合せがないとか云ふと怖得な、且ウム無いなどと云ふと威



を聞いて、<sup>作</sup>「わん、今夜は萬八と非難、船かねへ」萬「濟りませんねへ然う」  
の新石工門の處に行くのくどから阿ても御意見を聞いた日にやあ小部あ穴へす  
の出来次第の着で早く五六本塙を付て、運入見やうがです、まあ併しヘ  
下にて行く、後に残つた作藏は隣室に二十兩た借り申して新石御門宅で  
客の居るとも知らず、箱低座にて、<sup>作</sup>萬「ばんと一目が出さへすれば十倍  
八責棧二十兩貸せば此とこが破るじ二百兩になるまいのでございませう  
入るまいか、五兩八兩なら何うかたゐるさうなれば元金の外に、こりやと禮も  
出来るか、も是れ二十兩となつた面も然うない云て、幾干か添けて返さしめ  
には纏つた金だ、毎度の事で然う何うと、<sup>作</sup>「さあ然うもして呉れ然うし  
も金の生る樹を持つ、居る氣で居られて置けば又責棧が後で借りの時都合  
は困つて、日は俵もいろ／＼工夫をしも宜し、俺の方でも賃金も宜い箱に  
は二十兩借て來たか、何うかまあ元金ぐらゐ返しして呉れ」萬「今夜は船

八此二十兩は變らず賭たねへように  
と呉れ資様は大分博奕は上手だと  
うが、随分錢賭もするやうだが些たあ  
り、爲て呉れなくちやあ困る、さ  
二十兩のものなら十兩樓に入ると  
して十兩賭つとして、若し折が悪か

たれば又目の出るところまで我儘して  
少しは斯く手を締めて掛つて呉れるや  
うでなくては往けね、なめに取られ、  
は又件廠から借りるから宜いとは云て

此井に一杯飲んで行きやし  
器の水を明け酒を一盃注がせてぐうつ  
と一口に飲しました

廣 告

[illegible]

△各調請一業の御手紙で般の貨物を満足に  
 △包前部常便宜品は均に入店品の通販品を先ず  
 △詳細注文は附録送付可申上は代金引換小  
 △諸紐文表に宛附方中し御銀大館道星

**營業**

- △各國時計及
- △附屬品△眼鏡
- 指輪針身其類
- △貴金屬美術
- 品類△歐米工

**概**

- 轉車及附屬品
- 各種寫真機及
- 原料△大音響
- 音機及び音響

**目**

- 振計口座三二九
- 時計口座三六二
- 本寫眞自轉車部
- 南大門四八〇番
- 南大門二三號器

**織屋商店**

▲贈答品は引換店發行の糖菓多共放すに限  
 ▲通券品は券より各級店の優待も多共故に  
 ▲東京城根店各部寄附店に於て便利可申  
 ▲大田區赤坂北島野原店茶山園茶園  
 ▲井川縣開成町山神村太浦河邊池永

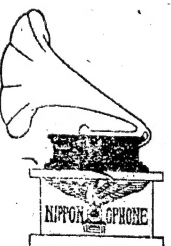
**▲共通商品券▲**

岡山縣人藤原繁造

石者弊店印ハッビ着用都合  
 牧居飯店傳へ聞き候も不都合  
 の行為有之解雇仕候間此段謹  
 告仕候

京橋樓并町一丁目  
 清造發賣所  
**大一酒店**

# 家庭用



◎日本譜  
朝鮮譜

多  
數  
着  
荷

（目錄進呈）

京本城町丁目  
日本蓄音器商會

電 話 一 二 八 三 番

屋 店 商 平 熊 辻

取次販賣希望者は御申越し被下度候

家 庭 用



一月より左記の處に移轉仕候  
大和町一丁目舊小川病院跡（京城日報社通り）  
小兒科 専門 姫野療病院  
内科  
隨時入院の需に應じ候  
電話二〇六八番



令部囑托技師）同  
（江日報社長）廿一日

農工銀行大田支店長  
（農業學校長） 廿日出  
川百三十銀行支店長）  
（市長） 同大郎  
山百三十銀行支店長）

二十日の朝、新

貸下げ金百二十萬圓  
て、其立派な事は半  
▲披露會に於ける  
して出たであつて、  
帝の彼れとは見わな  
立ち、纒々數千言、

一言も吐かなかつた  
儀式しぎのあるや、當時たうじ

市原は、大石を學  
び、生

寺が、たでんかんざひ燭酒を  
聞いたのだが、記

大建業が出来る  
主人に善命上の  
思議で、彼の龍山官  
藤公や曾嗣子が引  
は近き實例である  
病を癒み、病狀

あるが、記者は彼

派であつた、ツ  
 落成は朝鮮銀行の  
 云つた様であつた  
 基礎は、セメント  
 つてある、ダカラ  
 營業所の基礎と銀

風さす、今後同行は  
を營むと云ふ事

世が文明になつた  
が無家賃の營業所  
同行の基礎が堅く  
るまいではないか



業 同様の手段に出で辰市方に騙け込  
仁川京町開豊旅館止宿原籍神戸市生井

の入口に随落書生集合所とありて戸内  
▲市花館 三遊亭圓若一座の落語音曲

働はたらきつめたは衰つこいが萬まんじ歳さいはトートー



鳥島さんを忘れ兼ねる日  
はつねで一緒に食事をな  
本初夏山水密書、杭米、鮎山水、同水、  
四十三年度及往年度所屬土民  
居留民一般

諸公債株券 現物賣買 迅速確實に御取扱可申候 兼業



●大分これと違ふこと  
●完全無誤の目録あり  
●大分これと違ふこと  
●完全無誤の目録あり

胃腸下月健丸  
胃腸下月健丸  
胃腸下月健丸

胃腸下月健丸  
胃腸下月健丸  
胃腸下月健丸

仁丹  
仁丹  
仁丹

第一銀行京城支店  
第一銀行京城支店  
第一銀行京城支店

小倉齒修所  
小倉齒修所  
小倉齒修所

野田齒科醫院  
野田齒科醫院  
野田齒科醫院

新築落成 佐藤旅館  
新築落成 佐藤旅館  
新築落成 佐藤旅館

神感應  
神感應  
神感應

酒精アルコール  
酒精アルコール  
酒精アルコール

眼科専門  
眼科専門  
眼科専門

誠ハ弊店ノ主義也  
誠ハ弊店ノ主義也  
誠ハ弊店ノ主義也

龍角散  
龍角散  
龍角散

和洋帳簿  
和洋帳簿  
和洋帳簿

酒  
酒  
酒

茶  
茶  
茶

弦齋流割烹  
弦齋流割烹  
弦齋流割烹

新御装束  
新御装束  
新御装束

春飾  
春飾  
春飾

龍角散  
龍角散  
龍角散

酒  
酒  
酒